

Top Interview

トップインタビュー

— 変革に挑む —

まとめ/堀水潤一 撮影/掛川雅也

ECCC学校法人山人口学園
(ECCコンピュータ専門学校、
ECC国際外語専門学校、
ECCアーティスト専門学校)
学園長

大西宏史



本学園は来年30周年。 ECCのDNAが息づく3校が 独自の専門教育と英語教育を展開

ECC国際外語専門学校、ECCコンピュータ専門学校、ECCアーティスト専門学校を運営するECCC学校法人山人口学園は、総合教育・生涯学習機関であるECCCを設立した山口勇(故人)が創設し、来年度開学30周年を迎えます。3専門学校7校舎すべてを大阪・梅田駅至近の中崎町に集中、3校合同行事開催、積極的に各種地域貢献活動(サービスマーケティング)や相互履修を行っています。例えば美容を専門とするECCアーティスト専門学校の学生が実践的な語学やコンピュータリテラシーを習得することも可能です。合同入学式や学園祭(地球祭)は、協調性や共感性といった人間性醸成の一助にもなっています。さら

に、地元警察の要請を受けてECCコンピュータ専門学校生による防犯ポスターの作成、地域の皆さんへのメイクや着付けサービスなど、地域社会と連携するさまざまな活動を展開、地域貢献とキャリア教育を実体化しています。

3校には現在約750人の留学生が学んでいます。日本人学生と留学生や外国人講師が自由に交流できる「ECCインターナショナルプラザ」を開設、日頃から国際感覚を磨ける環境を整えています。

ECC国際外語専門学校では、大阪府が進める「大阪府国際化戦略アクションプログラム」の運営の一部を受託。府内の高校生を海外に派遣する「お

さかグローバル塾」の事前事後学習、本校施設を活用した「グローバル体験プログラム」を担当しています。参加者は2000人以上に昇り、海外に目を向ける多くの若者の要望にこたえています。

学生は国籍や出身校に関係なく等しく夢と可能性を有しています。その可能性を最大限に引き伸ばし、夢を実現することこそが、本学園の務めであり使命であると考えます。その実現のために、教職員一同、全力をあげて日々取り組んでいます。ECC国際外語専門学校は、日本英語検定協会から7年連続で文部科学大臣奨励賞・優秀団体賞を受賞し、ECCアーティスト専門学校、ECCコンピュータ専門学校でも同様に多数の資格取得の実績を築きました。

大学生の中退や無断欠席が問題になっているようですが、本学園では保護者とも連携し対策対応を図っています。われわれが決してあきらめなければ、学生は必ずこたえてくれるもの。あどけない表情をしていた新入生が成長し、卒業式の後、凛とした顔つきで教職員にあいさつに訪れる。喜びとともに、学生の成長力に驚かされる瞬間です。

【学園長プロフィール】おにおし・ひろふみ●1942年生まれ。北九州市立北九州大学外国語学部米英学科卒業。株式会社ECC(ECC外語学院)入職。83年学校法人山人口学園理事、2005年学校法人山人口学園常務理事、学園長に就任。

【学校法人プロフィール】1983年、学校法人山人口学園設立。84年、「国際外語専門学校」(現ECC国際外語専門学校)設立。97年、「ECCコンピュータ専門学校」設立。2003年、「ECCアーティスト専門学校」開校。